

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

高等教育活性化シリーズ 365 (通算 696 回)

2018 年 4 月 17 日 (火)

被害・加害なき大学を目指して――

キャンパス・ハラスメントの実際と対策

～ 多様なハラスメント／最近の事案・裁判例と法的責任／啓発・相談・調査・対応 ～

- ※ 多様なハラスメントの態様／法的責任と対象行為／裁判事例／各段階での実務的な対応策
- ※ キャンパスセクハラ/の最新動向／性の多様化と“SOGI ハラ”／多様性が尊重される大学づくり
- ※ “弱者” <特任教員・院生>への白い暴力／アカハラ・パワハラ・セクハラのない環境創生へ
- ※ 飲酒による死亡事例と要因／アルハラ/の定義と実情／教育現場の責任・対応・措置・予防の実際
- ※ ソーシャルメディア・ハラスメント～その特徴と実例／法律と裁判例／大学がとるべき対策

● 講師陣 ●

- 戸田 綾美 氏 / 東京神保町綜合法律事務所 弁護士
- 上田 智子 氏 / 聖徳大学 児童学部 講師 キャンパス・セクシュアル・ハラスメント全国ネットワーク
- 内田 伸子 氏 / 十文字学園女子大学 特別任用教授
- 稗田 里香 氏 / 東海大学 健康科学部 准教授
- 結城 大輔 氏 / のぞみ綜合法律事務所 弁護士

2018 年 4 月 17 日 (火) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

地域科学研究会
高等教育情報センター

日 時：2018 年 4 月 17 日 (火) 10：00～16：50

会 場：剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・神保町)
千代田紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362

アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷
駅」麹町口より徒歩 10 分

※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となり
ますので、必ずご確認ください。

- 参加費：A. ご一名 (資料代込) 41,000 円 (税込)
B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付) 42,000 円 (送料、税込)
C. 高等教育同人 (☆) 20,000 円 (税込)

- ※ メディア参加とは会場に来られない方の参加形式で、開催後に当日配布資料及び音声 CD を送付します。
- ※ なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、特別割引いたしますのでお問い合わせ願います。
- ※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。
- ☆ 高等教育計画経営研究所同人は KKJ の HP でご確認願います。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、
FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
郵便振替 00110-8-81660
口座名 <(株)地域科学研究会>

※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
代えさせていただきます。

申 込 先：地域科学研究会・高等教育情報センター
東京都千代田区一番町 6-4ライオンズ第 2-106
Tel: 03 (3234) 1231 Fax: 03 (3234) 4993 〒102-0082

E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp

HP : <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/>

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 365

キャンパス・ハラスメントの実際と対策

- (□に✓印を)
- 当日参加 メディア参加
 - 支払方法 郵便振替 当日払い 銀行振込
 - 必要書類 請求書 見積書 領収書

勤務先 _____

所在地 〒 _____

(書類宛名) _____

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00) 11:20	<p>□ キャンパス・ハラスメントの事例と対策 東京神保町綜合法律事務所 戸田 綾美</p> <p>1. 大学での多様なハラスメント 2. 大学におけるハラスメントの法的責任と対象行為 (1) 教職員に対する事案での法的責任 (2) 学生に対する事案での法的責任 (3) 定義・対象行為 (4) 行為の態様 3. 多様なハラスメントと裁判例 4. 実務的な対応策 (1) 組織体制の整備 (2) 相談・調査・対応 (3) 検証と再発防止</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:30) 12:30	<p>□ セクシュアル・ハラスメントとジェンダー・ハラスメントの実際と対策 ～ 性的自己決定権と性の多様性が尊重されるキャンパスへ ～ 聖徳大学 上田 智子</p> <p>1. キャンパス・セクシュアル・ハラスメントの最新動向 (1) 最近のキャンパス・セクシュアル・ハラスメントの処分・裁判事例から (2) 学生による性暴力と大学の責任 2. キャンパスにおける性的マイノリティ (1) 性の多様性と“SOGI ハラ” (2) 性的マイノリティの生活・学習上の困難の実態 (3) 性的マイノリティの権利保障に向けた取り組みの動向 3. 性的自己決定権と性の多様性が尊重されるキャンパスをつくる (1) セクハラ・“SOGI ハラ”の何が問題なのか (2) 防止・相談体制の整備 (3) 当事者の声を聴く・学生自ら関与することの重要性 (4) 人権・セクシュアリティ研修・教育カリキュラムの整備</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:30) 14:30	<p>□ 大学の“弱者”＜特任教員や大学院生＞への白い暴力 ～ 「オブラート」に包んだ「刃」～ 十文字学園女子大学 内田 伸子</p> <p>1. アカデミックな場でなぜパワハラが起こる～ その背景因を探る (1) アカハラ・パワハラが生起する背景因 (2) パワハラの種類 (3) 大学の経営難 (4) 弱者の権利の侵害と心理的ダメージ 2. アカハラ・パワハラ・セクハラの実態 (1) 特任教員へのパワハラの実態 (2) 大学院生へのアカハラ・セクハラの実態 (3) 過小な要求に該当する事例 (4) 言葉の暴力；精神的な攻撃に該当する事例 3. 人権侵害のないキャンパス風土をつくる (1) 各大学での人権侵害防止ガイドラインの比較 (2) アカハラ・セクハラが起こりやすい風土 (3) パワハラ・セクハラ・アカハラのない環境の創生への連携協同を！ (4) 肝心なのは問うのをやめないこと</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:40) 15:40	<p>□ アルコール・ハラスメントの実際と対策 ～ 飲酒による死亡事例／アルハラと予防教育～ 東海大学 稗田 里香</p> <p>1. 飲酒による死亡事例とその要因 (1) 急性アルコール中毒による死亡事例 (2) 「おかえりなさい」を言えなかった親御さんたち（ビデオボイス） (3) 依存性薬物とその作用（致死量と体質） (4) 未成年はなぜ飲んではいけないのか 2. アルコール・ハラスメントの定義と実情 (1) アルハラの実態 (2) アルハラの実態 (3) アルハラによる飲酒死亡事故の裁判事例 3. アルコール・ハラスメントの対応と予防教育 (1) 教育現場の責任～ 加害者・被害者にならないために／啓発活動 (2) 事故後の対応・措置～ 被害者へのケア／加害者への措置 (3) 予防対策の実際～ 啓発再発防止活動と加害者へのプログラム</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:50) 16:50	<p>□ ソーシャルメディア・ハラスメントをめぐる法的分析と対策 ～ 大学が検討すべき実務的対策を考える～ のぞみ総合法律事務所 結城 大輔</p> <p>1. ソーシャルメディア・ハラスメントとは (1) ソーシャルメディア・ハラスメントとは (2) ソーシャルメディア・ハラスメントの特徴 (3) ソーシャルメディア・ハラスメントの実例 2. ソーシャルメディア・ハラスメントに関する法律論 (1) ソーシャルメディア・ハラスメントに関連する法律 (2) ソーシャルメディア・ハラスメントに関連する裁判例 3. 大学がとるべき対策とは (1) 大学は、何を守る必要があるのか (2) ソーシャルメディア・ガイドライン (3) 大学が留意すべき実務的ポイント</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>